

基本理念及びスローガン（案）について

1. 基本理念（案）

すべての人の取り組みと互いの連携で、さらなる3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進による環境負荷の低減を進め、持続可能な社会の実現を目指します。

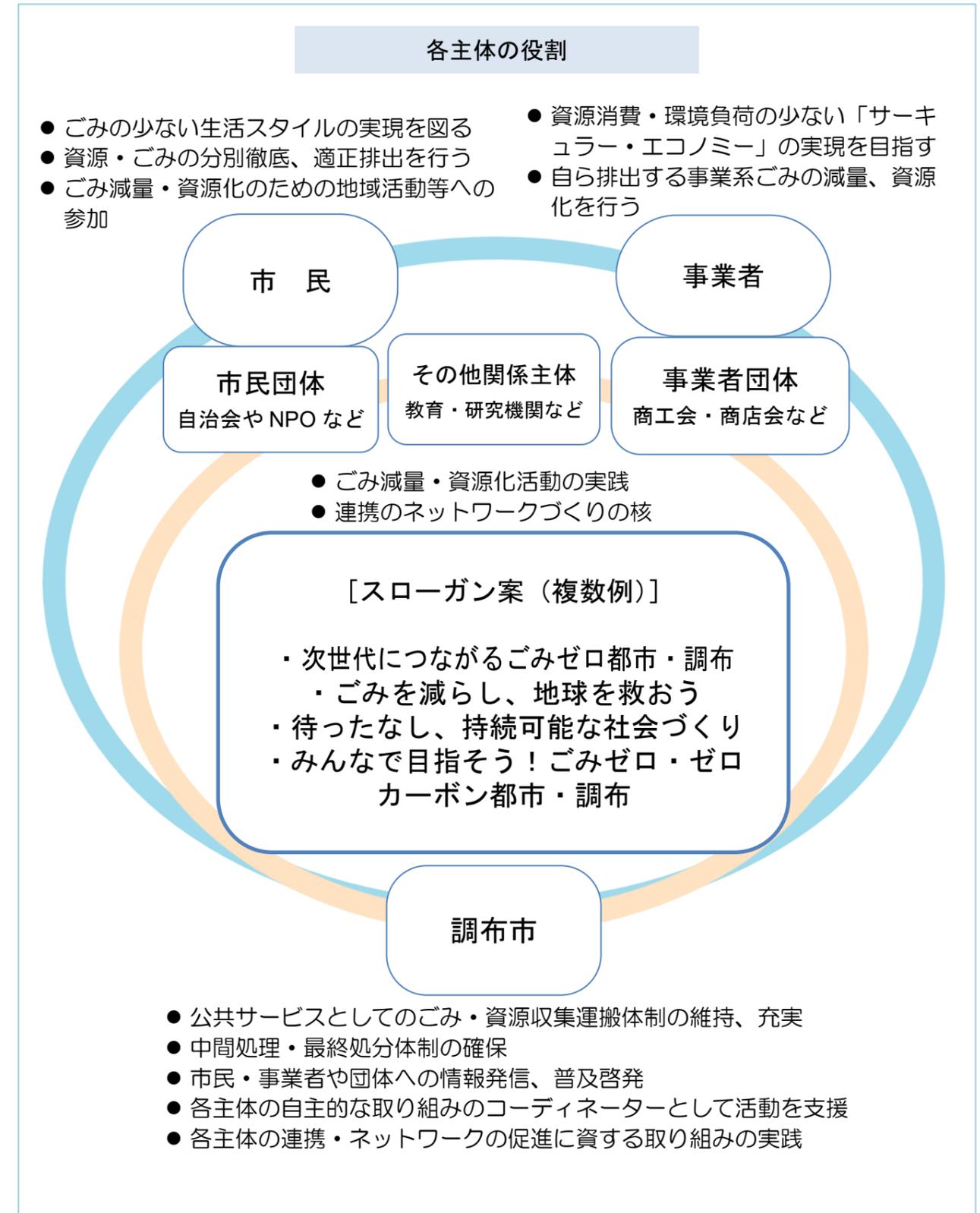
- 地球環境と人間社会は危機に瀕しています。異常な熱波や大規模水害を伴う気候変動、大量生産・大量消費社会の広がりによる資源制約の強まり、生態系・自然環境の破壊など、解決に向けた行動は待ったなしの状況です。
- 次世代に持続可能な社会をつなぐため、世界の国々で取り組まれているのが、SDGs（持続可能な開発目標）です。
- 資源循環や一般廃棄物処理の分野では、「目標 11 持続可能な都市」「目標 12 持続可能な消費と生産」「目標 13 気候変動」といった問題を中心としつつ、SDGs の達成に資する取り組みの展開が求められています。（下表）

SDGs の目標		資源循環・廃棄物処理の分野で求められていること
目標 11 [持続可能な都市]		ごみの排出をなるべく抑え、それでも排出される資源を効率的に循環させ、ごみを適正に処理する。
目標 12 [持続可能な消費と生産]		資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら付加価値を生み出す「サーキュラー・エコノミー」を実現する。
目標 13 [気候変動]		CO ₂ 排出量の増大につながるプラスチック類の焼却量を削減するなど、気候変動を軽減するための対策を講じる。
目標 14 [海洋資源]		海洋ごみの半分以上を占めるプラスチックごみを削減し、海の豊かさを守る。
目標 17 [パートナーシップ]		買い物やサービスを接点とした消費者と企業の連携、ごみ出しを接点とした市民と行政の連携など、産学官民で連携して取組を進める。

※他にも SDGs に関連する取り組みは多岐にわたります。（次ページ参考 1 参照）

- こうした状況を踏まえ、本計画の基本理念は、「**すべての人の取り組みと互いの連携で、さらなる3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進による環境負荷の低減を進め、持続可能な社会の実現を目指す**」こととします。

2. 共通スローガン（案）と各主体の役割



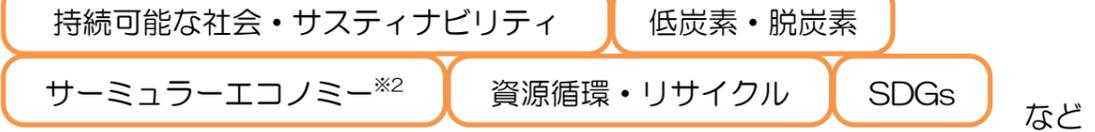
参考1 一般廃棄物処理基本計画に関連するSDGsの主な目標・ターゲット

SDGsの目標・ターゲット		ごみ処理・リサイクル分野の例
目標（ゴール）	ターゲット	
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p>4.7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童・生徒への環境教育や環境学習
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>7.2 再生可能エネルギーの割合を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ焼却熱エネルギー回収（ごみ発電） ・ 枝・草・葉などのバイオマス利用
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る</p>	<p>9.4 資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たなごみ処理・リサイクル技術の開発・導入
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<p>11.6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分別収集、資源化・処理体制の整備
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>持続可能な生産消費形態を確保する</p>	<p>12.3 世界全体の一人当たりの食料廃棄を半減させ、生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減らす</p> <p>12.5 廃棄物の発生を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品ロスの削減 ・ サーキュラー・エコノミー化の促進
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>	<p>13.2 気候変動対策を政策、戦略及び計画に盛り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック類の焼却量の削減 ・ 低炭素型処理・リサイクルの推進
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p>14.1 海洋汚染を防止・削減する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋プラスチックごみ問題
 <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<p>17.17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民・事業者・行政の参画・連携の推進

参考2 前回策定委員会に提案いただいたスローガン（旧基本理念）案

地球環境保全・社会のあり方に関するもの

（キーワード）



（スローガン案）

- さらなる減量・リサイクルで、持続可能な循環型社会を目指す
- さらなる減量・資源循環で、持続可能な社会を構築する
- 未来へつなぐ 持続可能な循環型都市 調布
- 循環型社会に資するさらなるごみ減量と資源化の推進～ごみ対策による新たな挑戦～
- サーキュラー・エコノミーに資するさらなるごみ減量と資源循環の推進～世界にごみ対策の見本を発信しよう～
- 官民連携によるさらなるごみ減量と資源循環の推進～SDGs、CO2削減、技術革新・新しい処理システムの構築～

取り組みのあり方に関するもの

（キーワード）



（スローガン案）

- 協働でつくる持続可能な循環型のまち 調布
- みんなでつくる持続可能な循環型都市 調布
- 環境にやさしいまち調布！！多摩地域のトップランナーを目指して
- サステナブル・ライフスタイル調布 2030～みんなではぐくむ「もったいない」の心～
- 脱炭素都市・調布を目指す持続可能なごみ処理システムの確立～みんなではぐくむ「もったいない」の心～
- ゼロ・カーボンシティ調布 2050～持続可能なごみ処理システムの確立に向けて～

分かりやすい・身近なイメージを伝えるもの

（キーワード）



（スローガン案）

- ごみダイエット！！あなたのチャレンジを未来に向けて、ごみ減量
- ごみダイエット！！もったいないの工夫から始まる
- 循環型社会を未来に絆ぐ（つなぐ）！合言葉は（もったいない）
- わくわくする未来を絆ぐ（つなぐ）！（まだ使える）